資料１－１

議題１　「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を踏まえた対応について（名古屋市提出）

市名	回答					
	（1）①避難所の収容人数算定にあたり、現状1人当たり何㎡で計算をしているか	（1）②現状での避難所の充足状況	（1）③3.5㎡で再計算をする予定の有無	予定がある場合 実施時期	（1）④3.5㎡で再計算をした場合、避難所の充足状況（推計含む） ※再計算を予定しない自治体も含む	④で避難所が不足する自治体のみ ⑤避難スペースを拡充していくためにどのような対策を講じる予定か（避難スペースの拡充以外の対策を含む）
名古屋市	2㎡/1人で計算している。	名古屋市全体では充足しているが、一部の区において不足する状況。	無		名古屋市全体では充足するが、一部の区においては不足する見込み。なお、令和7年6月の名古屋市防災会議にて「1人当たりの避難スペースは、緊急対応初期の段階における就寝可能な面積（1人当たり2㎡）を目安とするが、避難者数や避難生活の状況等に応じて可能な限り発災直後からスフィア基準に沿った1人当たり最低3.5㎡の居住スペースを確保するなど柔軟に対応する」旨を記載した。	既存避難所の指定スペース以外の拡充、新規施設との避難所指定交渉、ホテル・旅館の活用、近隣自治体との相互避難所利用協定、在宅避難の推進、車中泊避難の推進等
豊橋市	発災後３日間　２㎡/１人　で計算している。	２㎡/１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡で再計算した場合、通路等の導線を考慮すると避難所は不足するものと推計される。	宿泊施設や大学等と施設の一部を避難施設として利用する協定の推進。
岡崎市	２㎡／１人	２㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	協定の避難所により、避難スペースを拡大
一宮市	３㎡/１人で計算している。	指定避難所と補助避難所合わせて人口の１割強となる。	無		３．５㎡/１人で再計算した場合、人口の１割も収容できなくなる。	自宅避難や車中泊避難の活用に向けて研究している。
瀬戸市	避難所開設初期は１㎡/１人、中期は２㎡/１人、長期は３㎡/１人と計算している。	当市の南海トラフ地震被害予測（平成２８年）では避難所避難者は３４００人と予測されており、避難所の開設が長期的となった場合は３㎡/１人と計算しているが。その場合でも充足している。	無		当市の南海トラフ地震被害予測（平成２８年）では避難所避難者は３４００人と予測されているが、３．５㎡／１人で再計算をした場合でも、避難所は充足する見込み。	
半田市	２㎡／１人で計算している。	２㎡／１人で計算した場合、避難者数に対する避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	拡充の予定なし。
春日井市	３㎡／１人で計算している。	３㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	有	３．５㎡／１人で再計算を予定しており、令和８年３月に地域防災計画（様式・資料集）を修正する。	３．５㎡／１人で再計算をした場合も、避難所は充足する見込みである。	
豊川市	一時避難…１日程度…一人当たり１㎡ 緊急対応初期…３日程度…一人当たり２㎡ 長期避難…７日以上…一人当たり３㎡　で計算している。	左記の場合、避難所は充足している。	有	令和７年度	まだ再計算していないが、避難所が不足する見込みはない。	
津島市	４㎡／１人で計算している。	不足する。	無		不足する。	広域避難、在宅避難、縁故避難（親戚知人宅）等の推奨

議題１　「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を踏まえた対応について（名古屋市提出）

市名	回答					
	（1）①避難所の収容人数算定にあたり、現状1人当たり何㎡で計算をしているか	（1）②現状での避難所の充足状況	（1）③3．5㎡で再計算をする予定の有無	予定がある場合 実施時期	（1）④3．5㎡で再計算をした場合、避難所の充足状況（推計含む） ※再計算を予定しない自治体も含む	④で避難所が不足する自治体のみ ⑤避難スペースを拡充していくためにどのような対策を講じる予定か（避難スペースの拡充以外の対策を含む）
碧　南　市	２㎡／１人で計算している。	当市においては浸水エリアが広く、避難予定者数も多い。現在の２㎡／１人で計算した状況でも充足できていない状況である。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	避難所になっている各小中学校については、大規模災害時の際避難者数が多く、収容が困難な場合は、特別教室等の解放を各学校と協議済みであり、施設管理者と協議の上解放することとなっている。 また、在宅避難・縁故避難の推進や車中泊避難の推進などHPで啓発している。
刈　谷　市	3㎡/1人で計算している。	２㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	有	３．５㎡／１人で再計算を予定しており、令和８年２月の市防災会議において地域防災計画を修正する。	３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	既存避難所の指定スペース以外の拡充、在宅避難の推進、車中泊避難の推進等
豊　田　市	２㎡ / 1人で計算	２㎡／１人で計算した場合、避難所は充足（充足率：約１１３％）	有	現在、時期については検討中のため未定	３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足（充足率：約６５％）	既存避難所の指定場所以外の使用、新規避難所の指定、民間との協定による連携等を中心に、今後対策について検討していく。
安　城　市	指定避難所は２㎡／１人、指定福祉避難所は３．３㎡／１人で計算している。	２㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	有	防災基本計画や愛知県地域防災計画の修正内容を踏まえ、早ければ令和８年２月の市防災会議において地域防災計画を修正する。	３．５㎡／１人で再計算をした場合の収容人数は、想定避難者数をわずかに上回っているが、充足しているとは言えない。	在宅避難の推進、既存避難所の指定スペース以外の拡充、ホテル・旅館との協定
西　尾　市	２㎡／１人で計算している	２㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	新たに避難所指定できる施設を検討・調整する。また、ホテル・旅館等との協定などによる2次避難所の確保。
蒲　郡　市	２㎡／１人で計算している。	２㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	・既存避難所の指定スペース以外の拡充 ・在宅避難の推進 ・車中泊避難の推進
犬　山　市	３㎡／１人で計算している。	３㎡／１人で計算した場合、避難所は充足していない。	有	未定	３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所はより不足する見込みである。	既存避難所の指定スペース以外の拡充、新規施設との避難所指定交渉、ホテル・旅館との協定、近隣自治体との相互避難所利用協定、在宅避難の推進、車中泊避難の推進
常　滑　市	２㎡／１人で計算している。	２㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		スフィア基準に基づき算出した場合、被災者を収容するためには主要避難所以外の補完避難所を開設することになるが、対応職員が不足し開設できない。	
江　南　市	４㎡／１人で計算している。	４㎡／１人で計算した場合、避難所は充足はしていない。	無		3.5㎡／１人で計算した場合、避難所は充足はしていない。	在宅避難、親戚・知人宅への避難の推進
小　牧　市	２㎡／１人で計算している。	小牧市で想定している避難者多数の災害は想定濃尾地震である。 避難所避難者数は19,343人と算出されており、地震時の避難所開設を行う40施設の収容人数は19,447人のため現時点においては充足している。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	事業所と協定を締結し、車中泊避難スペースの確保に努める。 小牧市では現在在宅避難の有用性をアピールする機会を増やしている。
稲　沢　市	３㎡／1人で計算している。	３㎡／1人で計算した場合、避難所の充足状況は９．６％である。	有	令和８年度末	３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所の充足状況は概略計算で８．２％であり、避難所は不足する見込みである。	在宅避難の推奨、既存の避難所における使用施設の拡大、既存の公共施設の避難所指定

議題１　「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を踏まえた対応について（名古屋市提出）

市名	回答					
	（1）①避難所の収容人数算定にあたり、現状1人当たり何㎡で計算をしているか	（1）②現状での避難所の充足状況	（1）③3．5㎡で再計算をする予定の有無	予定がある場合 実施時期	（1）④3．5㎡で再計算をした場合、避難所の充足状況（推計含む） ※再計算を予定しない自治体も含む	④で避難所が不足する自治体のみ ⑤避難スペースを拡充していくためにどのような対策を講じる予定か（避難スペースの拡充以外の対策を含む）
新　城　市	３㎡／１人で計算している。	３㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合であっても避難所は充足する見込みである。	
東　海　市	長期避難：３㎡／人、短期避難：１㎡／人で計算している。	長期避難：３㎡／人、短期避難：１㎡／人で計算した場合、避難所は充足してる。	有	他市町の状況を踏まえて検討中。	３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	既存避難所の指定スペース以外の拡充、在宅避難の推進、車中泊避難の推進　等
大　府　市	３㎡／１人で計算している。	指定避難所は28か所あるが、これ以上の増加は立ち上げ時の従事者の課題がある。	有	時期は未定	収容人数が約８５％となり、不足すると見込まれる。	在宅避難の推進
知　多　市	６㎡／１人で計算している。	６㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は充足する見込みである。	
知　立　市	長期避難所：３㎡/１人で計算している。 一時避難所：２㎡/１人で計算している。	２㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	ホテル・旅館との協定や在宅避難の推進、車中泊避難の推進および場所の確保等講じていく必要があると考えている。
尾 張 旭 市	３㎡/１人	３㎡/１人で計算した場合、避難所は充足している。	有	３．５㎡／１人で再計算を予定しており、令和８年２月の市防災会議において地域防災計画を修正する予定	３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	県立高校を追加指定するために交渉予定
高　浜　市	3㎡／１人で計算している。	3㎡／１人で計算した場合、避難所は充足しているとは言えない。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	在宅避難、車中泊避難の推進。
岩　倉　市	３㎡／１人で計算している	３㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合でも、避難所は不足しない。	
豊　明　市	3㎡/1人で計算している。	教室等も含めて3㎡/1人で計算すると収容人数は約19,000人であり、南海トラフ地震における想定最大避難者数19,000人に対しては充足している。	無		想定避難者全員が避難所に避難した場合、数値的には不足する。	在宅避難、車中泊避難の推進
日　進　市	３㎡／１人で計算している。	３㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で計算した場合でも避難所は充足している。	
田　原　市	１．６５㎡／人で計算している。	１．６５㎡／人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	在宅避難・縁故避難・車中泊避難の推進、ホテル・旅館との協定
愛　西　市	３㎡／１人で計算している。	３㎡／１人で計算した場合、避難所の収容人員は充足している。	有	各避難所において３．５㎡／１人で計算して算定人員を算出しています。次回、地域防災計画を修正する予定です。	３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所の収容人員は充足している見込みである。	広域避難や事前避難及びホテル等への宿泊の啓発。

議題１　「避難生活における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」を踏まえた対応について（名古屋市提出）

市名	回答					
	（1）①避難所の収容人数算定にあたり、現状1人当たり何㎡で計算をしているか	（1）②現状での避難所の充足状況	（1）③3．5㎡で再計算をする予定の有無	予定がある場合 実施時期	（1）④3．5㎡で再計算をした場合、避難所の充足状況（推計含む） ※再計算を予定しない自治体も含む	④で避難所が不足する自治体のみ ⑤避難スペースを拡充していくためにどのような対策を講じる予定か（避難スペースの拡充以外の対策を含む）
清　須　市	３㎡／１人で計算している。	３㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で計算した場合、避難所は不足する見込みである。	近隣自治体との相互避難所利用協定、広域避難協定の推進、在宅避難の推進、車中泊避難の推進
北名古屋市	３．５㎡/１人で計算している。	３．５㎡/１人で計算した場合、避難所は充足していない。 ※　地域防災計画上に記載している１日後の避難者数（約1,100人）は満たしているが、１週間後の避難者数（約１６，０００人）は満たしていない。	無		②と同様である。	在宅避難及び家庭の防災備蓄の推進 車中泊避難の推進（総合防災訓練等で、避難所である小中学校での車中泊訓練等を検証）
弥　富　市	３㎡／１人で計算している。	不足している。	有	愛知県地域防災計画の改正状況を踏まえ、令和８年２月の市防災会議において市地域防災計画を修正する。	引き続き不足する見込みである。	既存避難所の指定スペース以外の拡充、新規施設との避難所指定交渉
みよし市	３㎡／１人で計算している。	３㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		不足しないが、再構築の見直しに時間がかかる	在宅避難の推進
あ　ま　市	３㎡／１人で計算している	３㎡／１人で計算した場合、過去地震最大モデルでの発災１日後では避難所は充足しているが、１週間後では充足はしていない。また、市内小中学校の想定収容人数は教室も含めての人数で当時計算されているが、現在の運用は教室を含まない想定のとなっている。教室を含まなくても、１日後は充足していると思われる。	無		間仕切りテント１基（２人収容）につき４㎡で再考しているが、充足状況は再計算できていないため不明。	
長久手市	３㎡／１人で計算している。	３㎡／１人で計算した場合、避難所は充足している。	無		３．５㎡／１人で再計算をした場合、避難所は不足する見込みである。	在宅避難の推進